

企業紹介

お客様と共に商品を開発すること
によって繁栄を目指します



株式会社 矢 嶋 屋

代表取締役 内田 良治
〒955-0055 三条市塚野目4-14-1
TEL 0256-32-3787 FAX 0256-33-3284
<http://www.j-yajimaya.co.jp>

業 種：金物卸
資 本 金：1,000万円
事業内容：生活雑貨、家庭用品、インテリア用品の企
画開発、販売

今年で創業104年を迎える(株)矢嶋屋。金物卸問屋として培った提案型営業を活かし、現在は生活雑貨などの商品を企画・開発し、大手小売店等に販売する。同社商品の強みは高品質かつ低価格であること。それを実現させているのは、同社の卓越した商品開発力、そして徹底した品質管理とローコスト経営にある。

小売店向けに自社開発商品を提供

同社は、明治40年に、地場産の大工道具や刃物などを東北方面に販売する金物卸問屋として創業。104年を経た現在では、対象商品を生活雑貨やキッチン用品等に絞り、小売店向けに提供している。

同社の取扱商品は、約7割が自社開発したもの。機能性や生活空間に合うデザイン性を重視した商品が多く、販売先には(株)ニトリなど全国展開する小売店もある。その商品開発には営業担当者が携わっているが、「お客様の要望を正確に聞き取り、商品に活かす」という創業当時の卸問屋の営業姿勢を引き継ぎ、日々売場をよく観察。最終消費者であるお客様のニーズや要望を素早くキャッチし、いち早く商品に活かす営業姿勢を今日も貫く。



▲機能性に優れ、どんな生活空間にも似合うシンプルなデザイン

徹底した品質管理とローコスト経営

また、同社では徹底した品質管理とローコスト経営を行う。現在、商品の多くを中国にて製造しているが、製造委託工場には地場産地の技術を身につけた担当者が直接出向き、製造工程や品質を厳しくチェック。製品が入荷した際は、パッケージの印字記入漏れや瑕疵の有無など、あらゆる部位を検査する。

一方、適切な在庫管理や運送費の削減など、販売にかかる経費を見直し、浮いたコストを販売価格に還元。良質な商品を、他社が簡単には真似できない低価格で提供できる経営体制を確立している。



▲適切な在庫管理と正確な出荷を行う
(塚野目倉庫)

企業を存続させるためには『革新』が必要

現在、同社ではネットショップ (<http://www.rakuten.co.jp/joy-island/>) も開設しており、インターネットを活用した新たな顧客獲得も目指す。

内田社長は「企業を存続させていくためには、『革新』を続けていかなければいけない」と、常に10年先の新規開拓と新しいビジネスモデル構築を視野に入れ、事業を展開する。



▲内田社長 (2010年に新設した
ショールームにて)